

研究課題名	胆膵内視鏡診療と化学療法の安全性と有効性についての検討
研究の意義・目的	胆道癌および膵癌では、腫瘍による悪性胆管狭窄に伴う閉塞性黄疸、急性胆管炎をきたすことが多く、内視鏡的ドレナージ術（内視鏡的に胆管ステント留置することで胆管狭窄・胆汁うっ滞を改善すること）が必要になります。胆膵癌における内視鏡ドレナージ術による化学療法への影響を検討した文献報告は少なく、実臨床における安全性と有効性の検討を後ろ向きに行うことで、今後の診療に有益な情報を得られると考えます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2015年4月～2022年3月に大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科で、胆膵疾患の診断および治療のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、内服歴、生活歴、検査データ、CT画像、内視鏡画像】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 木村明恵
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 （担当者氏名）木村 明恵 電話番号：(06) 6645-3811 メールアドレス：kimura.akie@med.osaka-cu.ac.jp